

学校づくりが拓く新しい木材活用社会

講師 **長澤悟** 氏（東洋大学名誉教授 教育環境研究所理事長）

1948年神奈川県生まれ。東京大学工学部建築学科卒業、同大学院博士課程修了。工学博士。東京大学助手、日本大学工学部助教授・教授、東洋大学理工学部教授、法政大学大学院非常勤講師を経て現職。木と建築で創造する共生社会実践研究会会長。文部科学省木造校舎の構造設計標準の在り方に関する検討会座長。専門は建築計画学。教職員・住民と話し合いを重ねるプロセスにより、全国で300校余の学校づくり・地域づくりに携わる。浪合学校で日本建築学会作品賞、福島県三春町の一連の学校づくりで同業績賞を受賞。

学校は子どもたちの教育の場であると共に、地域の暮らしや文化と深く関わり、災害時には安全・安心を支える、地域の核となる公共建築です。学校建築における地域材の活用は、子どもたちが木の空間のよさを実感し、地域の風土や記憶を知ることによって将来の木の建築や地域づくりの担い手を育てます。また、森林の保全や木材産業の育成を促し、他の公共建築への展開など、木造・木質化をリードする力があります。本セミナーでは、木の学校づくりを通じた木材活用の広がりを紹介し、その可能性について考えます。

- ・ 日 時 2026年5月14日(木) 15:30～17:00
- ・ 形 式 オンライン開催が基本
※日本ウッドデザイン協会の会員は会場参加も可能
(事前申込制)
- ・ 参加費 無料
- ・ 申 込 右のQRコードよりお申込みください

